

<自主検査完了ユニット毎の検査結果>

堺港発電所 2号機

検査期間 :平成 16年 12月 10日~平成 16年 12月 15日
平成 17年 2月 25日~平成 17年 3月 22日

検査箇所数 : 668箇所

計算必要厚さを下回る箇所数 : 3箇所

<部位名>

スチームエアヒータ ドレン配管のエルボ部 (今回発表分)

ボイラの燃焼用空気を蒸気により加熱する装置

ボイラドレン系統 のT管部 (今回発表分)

起動工程において、ボイラのドレン(凝縮した水)を回収する系統

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) ()	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要厚さ (mm)	測定最小値 (mm)
	89.1	180	0.78	7.6	3.0	1.4
	89.1	180	0.78	7.6	3.0	2.1
	216.3	350	0.08	8.2	3.8	2.4

海南発電所 1号機

検査期間 :平成 16年 9月 30日~平成 16年 10月 13日
平成 17年 2月 28日~平成 17年 4月 6日

検査箇所数 : 1,144箇所

計算必要厚さを下回る箇所数 : 6箇所

<部位名>

過熱器スプレー配管 のレジューサ部 (平成 16年 10月 12日発表済み)

ボイラ蒸気温度制御の目的で、蒸気配管に水を注水するために給水系統から分岐した配管

給水ポンプ再循環系統 のレジューサ下流部 (今回発表分)

ユニット起動・停止時及び部分負荷時において給水ポンプの最低流量を確保するための系統

給水ポンプ出口配管 のエルボ部 (今回発表分)

ボイラに水を送るポンプの出口配管

主給水管 のエルボ部 (今回発表分)

ボイラに水を供給する配管

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) ()	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要厚さ (mm)	測定最小値 (mm)
	165.2	288	29.9	21.9	18.6	18.5
	139.8	193	31.4	22.0	16.5	14.8
	406.4	193	31.4	57.0	52.7	51.8
	508.0	193	31.4	68.0	65.9	60.4
	406.4	193	31.4	57.0	52.7	49.5
	406.4	305	31.4	57.0	52.7	49.8

姫路第二発電所 3号機

検査期間 : 平成 16 年 10 月 25 日 ~ 平成 16 年 10 月 28 日
平成 17 年 3 月 10 日 ~ 平成 17 年 4 月 4 日

検査箇所数 : 690 箇所

計算必要厚さを下回る箇所数 : 19 箇所

< 部位名 >

ボイラドレン系統 のエルボ部 (今回発表分)

起動工程において、ボイラのドレン(凝縮した水)を回収する系統

スチームエアヒータ ドレン配管のエルボ部 (今回発表分)

ボイラの燃焼用空気を蒸気により加熱する装置

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) ()	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要厚さ (mm)	測定最小値 (mm)
	114.3	350	0.69	8.6	3.4	2.7
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.7
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.7
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.3
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.7
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.9
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.2
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.2
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.4
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.6
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.9
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	0.9
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	2.2
	114.3	170	0.69	6.0	3.4	1.6

相生発電所 2号機

検査期間 : 平成 16 年 10 月 10 日 ~ 平成 16 年 10 月 11 日
平成 17 年 2 月 14 日 ~ 平成 17 年 3 月 14 日

検査箇所数 : 1, 296 箇所

計算必要厚さを下回る箇所数 : なし

赤穂発電所 1号機

検査期間 : 平成 16 年 10 月 12 日 ~ 平成 16 年 10 月 22 日
平成 17 年 2 月 20 日 ~ 平成 17 年 4 月 6 日

検査箇所数 : 1, 792 箇所

計算必要厚さを下回る箇所数 : なし